

新たな地域振興制度を活用した電源地域の取り組み

現在、全国の電源地域では各地域自らが持つ資源を見出し、内外における連携を行い、試行錯誤を繰り返しながら「地域活力の向上」に取り組んでいます。次に紹介する福島県富岡町はロケ誘致を目指した住民の連携を軸に、また、北海道岩内町は産学官の連携を軸に地域振興を進めており、その手法のひとつとして経済産業省の制度を活用しています。今回は経済産業省が平成十七年度に公募した「地域内連携によるコンテンツ製作環境整備モデル事業」「新事業支援産学官ネットワーク形成事業」に採択され、行政、民間団体、住民が一体となって地域振興を進めているそれぞれの町の取り組みをご紹介します。

ロケ誘致で地域振興を

「応援団」結成へ全力

福島県富岡町

映画やテレビドラマのロケを誘致し、地域振興につなげる「地域内連携によるコンテンツ製作環境整備モデル事業」に福島県富岡町商工会（渡辺光夫会長）が選ばれました。これを受けて同商工会は、行政、民間団体、住民が一体となったロケ応援団「e.i.d.（えいだ）みちのくとみおかロケ応援団（仮称）」の結成に向け、組織作りを進めています。ロケ応援団は、ロケに関するさまざまな問い合わせに対してワンストップサービスで対応できる体制を整え、映像製作者への誘致活動とともに、住民参加型エキストラ制度の確立、地域における上映会の実施、公共施設の撮影目的の開放など、映像コンテンツを中心とした町づくりを行います。今回、公募したきっかけは、渡辺会長が

二年前に参加した商工会対象の研修で「ロケ誘致が地域振興につながる」ということを学んだことでした。それから間もなく上映設備をもつ富岡町文化交流センター「学びの森」が完成し、「これであれば実践できる」と実感したそうです。

平成十七年八月、応援団の結成に向けた説明会が開かれたことを皮切りに、これまで同商工会や富岡町、町観光協会、青年会議所などが出席し、セミナーや戦略会議を数回開催しました。今後はロケ地情報、エキストラ、支援業者、応援団を募集・登録し、ロケ応援団結成に弾みを付ける予定です。さらに、平成十八年二月には有名映画監督などを招いて町民対象のシンポジウムが行われることになっています。

平成十七年十月二十八日には、東京都で開催された「第十八回東京国際映画祭」において渡辺会長が富岡町のこれまでの取り組みを報告。ロケ支援や映画製作に携わる約二百人の関係者が出席するなか、夜の森地区の桜並木や日本一小さな漁港として知られる小良ヶ浜漁港などをプロモーション



第18回東京国際映画祭で富岡町をPR



夜の森 桜並木通り

ビデオ映像で紹介し、ロケ誘致を訴えました。「富岡町には「文化交流センター」学びの森」や「グリーンフィールド」などといった広大な施設、大倉山をはじめとする豊かな自然など地域資源がたくさんあります。ロケ誘致を起爆剤に行政、民間団体、住民が一体となって地域振興を進め、さらには双葉郡の発展につなげていきたい」と渡辺会長は今後の抱負を語りました。

■お問い合わせ先
福島県富岡町商工会
0240-221-3307
<http://www.pulpula.net/>

海洋深層水で地域の活性化

産学官ネットワークで新商品開発・販路開拓へ

北海道岩内町

北海道岩内町を中心とした岩内地域では、「岩内海洋深層水商品活性化促進ネットワーク」を組織し、海洋深層水の新商品開発・販路開拓に取り組んでいます。メンバーは、岩内地域及び札幌圏の海洋深層水活用企業、大学、試験研究機関、支援機関、自治体等で、商品化や販路開拓で参加企業が直面している課題を洗い出し整理・検討するとともに、検討結果をネットワークを構成する各機関に情報提供し、相互協力による課題の解決を進めています。

事業の対象地域は、岩内町、共和町、泊村、神恵内村、小樽市、寿都町、蘭越町、札幌市、江別市、千歳市の四市四町二村の十市町村におよび、実施事業は次の四事業です。

1 ネットワーク形成事業

① 映画企業、大学、試験研究機関、支援機関、自治体等が協力連携し、現状における参加企業等が抱えている商品化や、販路等で直面している課題の集約・分類。
② 海洋深層水商品に係る課題、特許等の調査、海洋深層水の効果の研究・分析、商品化のノウハウや販路開拓等に関する情報共有、先進県（高知県等）の視察。

2 新商品・新技術評価事業

新商品・技術開発に係る課題等の解決にあたって、新商品技術開発研究会を設置し、技術的課題、分析の必要性の有無などについて具体的な検討を行い、データの所在、

委託先、調査機関等について専門家のアドバイスを受けています。

特に商品開発において不可欠であり、かつ専門的研究を必要とする「海洋深層水の物性データ」については、酪農学園大学や北海道大学が担当し、特許についても北海道知的所有センターが支援しています。

3 販路開拓支援事業

販路開拓支援に係る課題等を解決するため、インターネットショップを開設するほか、各商品分野の特徴やマーケットの特性などの検討を行うとともに、具体的な販路開拓および販売方法として次の四点を検討しました。

- ① 岩内海洋深層水商品カタログの作成
- ② イベント出展でのアンケート調査
- ③ インターネットショップ販売
- ④ 札幌市場への共同配送事業の検討

4 情報提供事業

新商品開発および販路開拓を側面的に支援するため、海洋深層水の有効性等に係るカタログを作成するとともにホームページを開設し、情報提供を行っています。

平成十七年十一月一日には、岩内商工会議所および参加企業の協力のもと、北海学園大学を中心とした大学生が札幌市中央区内のビルにアンテナショップ「海水屋本店」を開設。岩内の深層水を使った飲料水やお茶、豆腐、石けん、みそ、つくだ煮、化粧品等を仕入れて販売しています。

新商品開発に取り組んだ当初、岩内だけでは食品研究や販路開拓に関する知識・技術・人材が不足し市場参入は困難だと判断した岩内商工会議所が、その解決策として呼びかけた「新産業支援産学官ネットワーク形成」が成功の大きな要因と考えられます。

日本海岩内海洋深層水の特性

- 低温安定性
日本海の海洋深層水は二度以下と極めて低温で、「日本海固有水」と呼ばれています。
- 富栄養性
「硝酸塩」「リン酸塩」「ケイ酸塩」という無機栄養塩類が豊富であり、その含有量は表層水の何倍にも相当します。
- 清浄性
細菌などは表層水のわずか百分の一程度しかなく、非常にきれいな海水です。

■お問い合わせ先
北海道岩内商工会議所
0135-621-1184
<http://www.hokkaido.ci.or.jp/wanai/>



産学官連携ネットワーク会議の開催



札幌市で開催された交流会で事業をPR

地域内連携によるコンテンツ製作環境整備モデル事業の概要

近年、映画などのロケーション受け入れをはじめとする映像等コンテンツを使用した地域振興策を講じる自治体が増加しています。また、自治体のみならず、ロケーション受け入れ組織、観光協会、商工会議所、関連企業、地域住民等が連携し、官民共同の組織体によるコンテンツを活用した地域振興が活発となっています。

このような動きは、これまでなかったものであり、映像等コンテンツ製作者に裨益しており、各地域におけるロケーション受け入れのサービス向上はコンテンツ産業の振興につながるものとなります。また、同時に地域内でのロケーション受け入れ事業の盛り上がりは地域振興にもつながるため、地域住民の理解促進やロケーション受け入れ環境の整備により、さらなるロケーション受け入れの増加につながるという好循環が期待できます。

一方で、映像コンテンツが製作されることで、地域の知名度があがり、観光誘客や地域資源の保全につながる事例もみられます。このような観点から、今後ロケーション受け入れを地域振興につなげたいと考える地域にとつてのモデルとなるような事業を実施するべく、経済産業省において地域でコンテンツを利用した地域振興事業を支援するものです。

新事業支援産学官ネットワーク形成事業の概要

地域経済を活性化させるには、地域の比較優位性を生かし、地域経済を支え世界に通用するような企業・産業が次々と展開されていくことが必要です。しかし、今後の成長産業は、斬新なアイデアに基づく開発等が必要となるハイリスク・ハイリターンな分野であり、地域の企業が「社独力」で進出するのは困難です。このため地域の企業、大学、公設試験研究機関等が産学官ネットワークを形成し、このネットワークを活用した事業展開により、情報、技術、人材、資金、販路等の経営資源を補完していくことが必要になります。

本事業は、産学官ネットワークを形成する各種支援事業を行う民間団体等に対して委託を行い、新事業創出の基盤となる産学官ネットワークの形成を推進し、地域の企業がこのネットワークを活用し、新事業展開が促進されることにより地域経済活性化の新事例を創出し、もって地域振興につなげることを目的とした事業です。